

## 神奈川台場物語

### 小学生も知って

青木小に千冊寄贈

横浜

神奈川台場地域における幕末

の遺構保存や歴史の担い手育成などに取り組む神奈川台場地域活性化推進協会(横浜市中区、山本博士理



事長)は1日、今年創立150周年を迎えた同市立青木小学校(同市神奈川区)に冊子「神奈川台場物語」を千冊寄贈した。

神奈川台場は、横浜港開港翌年の1860年、勝海舟による設計で築かれた砲台。同協会は明治維新150周年を記念し、幕末開港

期の歴史を地域の子どもたちに知ってもらおうと、同冊子を製作した。

寄贈式では、青木小150周年プロジェクト長を務める6年生の早川瑠璃さん(11)が代表して冊子を受け取り、「歴史が大好きなので早く見たい」とあいさつした＝写真。

山本理事長は「神奈川台場は開港当時の横浜を感じられる貴重な遺構。より注目してもらえよう取り組みを続けていきたい」と活動への意気込みを語った。

同冊子は、横浜開港資料館で販売している。詳しい内容は、同協会の公式ウェブサイト(<https://kana.gawadaiba.com/>)へ。